



タチビ祭での展示風景

※下記キャプション（左から）

開 727×606mm キャンバスに油彩 / 断末 894×1455mm キャンバスに油彩 / 穴隙 727×606mm キャンバスに油彩

2024 タチビ祭 最優秀賞 岡部樹一（油絵科昼間部）

作者コメント

私は宗教絵画の神秘的な雰囲気魅せられていたので、自分なりに神を創り、その誕生の一部を描くことにしました。中央の人物は神への覚醒段階で、次のフェーズに行くには今の形状では耐えられず、分裂し崩壊します。そして、次のフェーズに適応できる形状へと再編成されます。崩壊し、一度消滅する直前に、はるか未来の終末にて神として崇められていた自身の像と対面する、残酷なほど美しい断末の風景を描きました。両サイドの絵はその終末世界の別地点です。三枚に共通して描かれている植物のようなものは、生物と人工物のはざままで、愚かな人間の強欲から生まれた世界を侵食する負の象徴です。

思い通りに描けなかったり、時間的に妥協したりした部分だらけですし、客観的に自分の絵が見られなくなっていますが、今までで一番向き合い試行錯誤した作品であることは確かです。